はしご兼用脚立

取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を**よくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。

●はしご兼用脚立は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、はしご兼用脚立の安定した状態を確認してください。

●はしご兼用脚立は、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。

●はしご状態で使うときは、大人の補助者がしっかりと支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。

●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

＜絵表示について＞
警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

可動部や回転部で手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを示します。

この面は裏面です 使用禁止

裏面を使うと開き止め金具が破損して、転落の危険があることを示します。

天板の上に のること禁止 またがること禁止 すわること禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。

開き止め金具のロック忘れに注意

開き止め金具のロックを忘れて使うと脚が開閉し、転倒や転落の恐れがあることを示します。

ここにのること禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。

左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

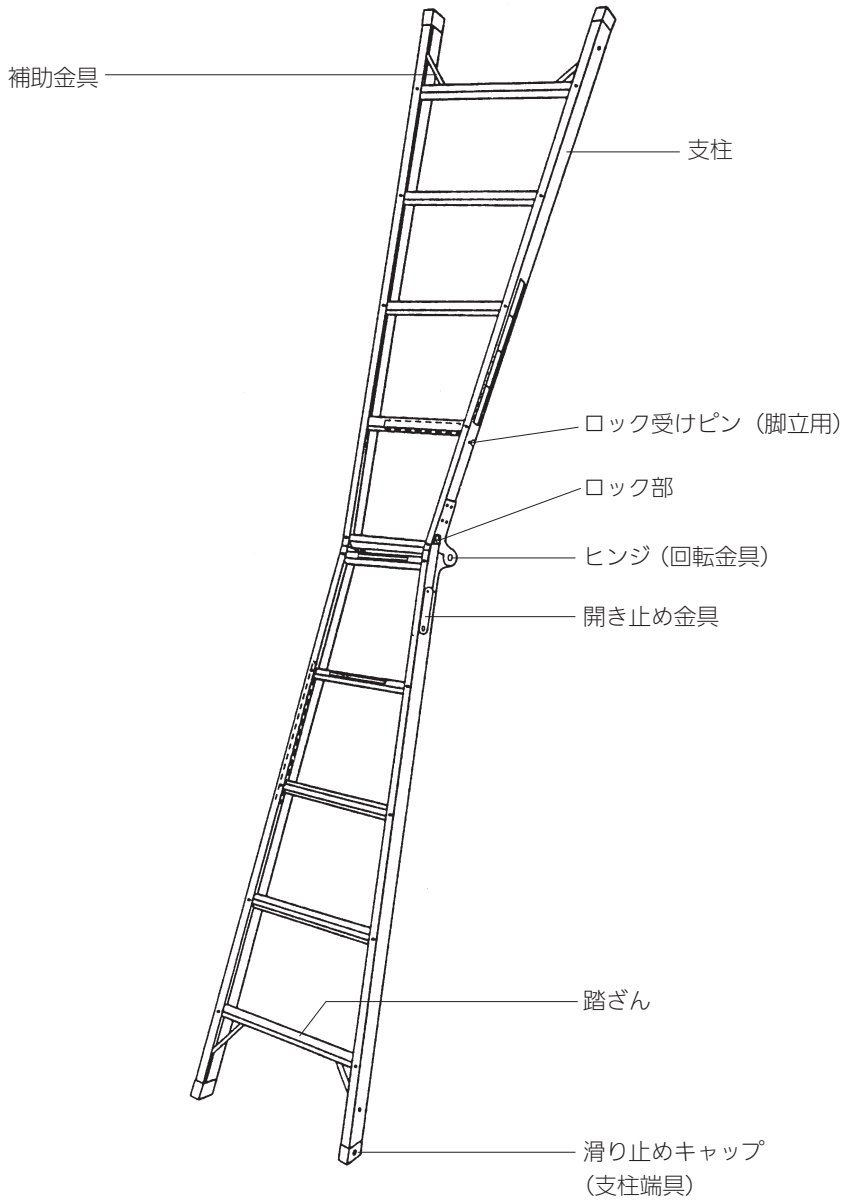
各部の名前

＜脚立の状態＞

この図は、標準タイプを表しています。

※このラベルは、天板までの高さ 1m60cm 以下には 1 箇所、1m70cm 以上には、2 箇所貼ってあります。

※ 1. ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
※ 2. ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。
※ 3. ラベルナンバーの○は、改訂ナンバーです。

<はしごの状態>

安全のために、必ず守っていただきたいこと

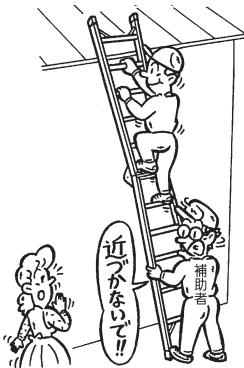
ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠警告 禁止 はしご兼用脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。

はしご兼用脚立は、高い所で作業するときの足場として作られた「脚立」の用途と、建物などに立て掛けて高い所に昇り降りする「はしご」の用途があります。「はしご」として使うときは、作業をしないでください。
使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 強制 はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。

補助者がはしごを支えないと、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。
また使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。

⚠警告 強制 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

⚠警告 禁止 はしご兼用脚立を加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠警告 禁止 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠注意　使用に適した服装で使ってください。

強制

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

⚠注意　お使いになるときは、作業帽（ヘルメットなど）を着用してください。

強制

⚠注意　貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

禁止

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー（3、4ページを参照）をご連絡ください。

⚠注意　身体が下記の状態のときは、使わないでください。

禁止

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意　この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

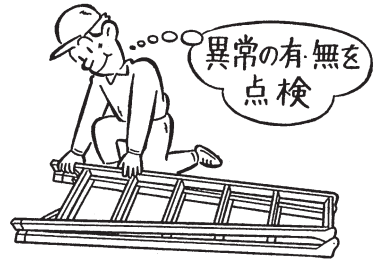
強制

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

2. ご使用になる前に

⚠警告　使う前には、必ず「ご使用前の点検（15、16ページを参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

強制

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告　変形したはしご兼用脚立を、使わないでください。

禁止

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

⚠注意　トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

禁止

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

⚠注意　持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

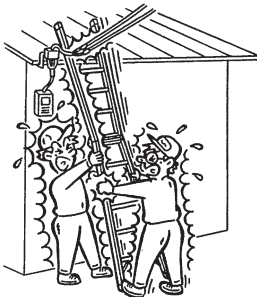
禁止

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について

⚠危険　設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

強制

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠警告　はしごや脚立が安定しない場所には、設置しないでください。

禁止

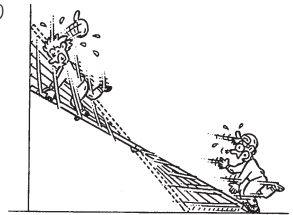
設置場所が下記の状態では、はしごや脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

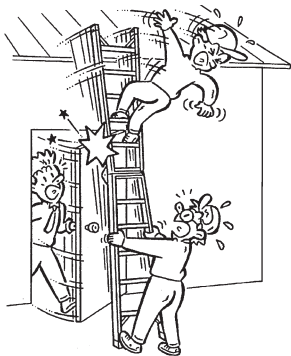
- やわらかい地面や壁で、はしごや脚立が安定しない場所。
- 段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- はしごで使うとき、支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- 脚立で使うとき、脚立がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

⚠警告　はしごや脚立が滑りやすい場所には、設置しないでください。

禁止

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- 濡れている場所。
- 滑りやすいタイル・ガラスなどの壁。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
- その他、滑りやすい場所。

⚠警告 **人の出入口やドアの前には、設置しないでください。**

出入りする人や開けたドアで、はしごや脚立が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。**

禁止

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。**

禁止

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

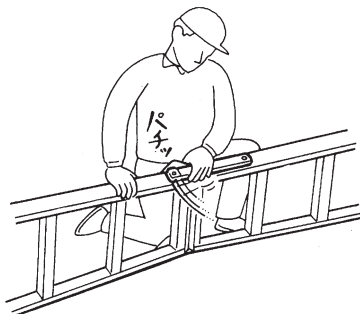
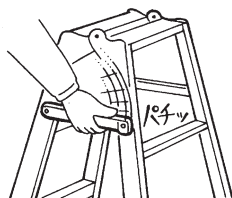
⚠注意 **周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。**

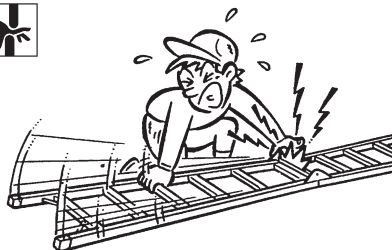
禁止

転倒や転落の恐れがあります。

5. はしごや脚立にするとき

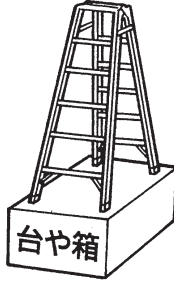
⚠警告 **両側の開き止め金具を確実にロックしてください。**

開き止め金具のロックが不十分で使うと脚が開閉し、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで、手をはさまないように注意してください。**

けがをする恐れがあります。

6. 脚立状態で設置するとき

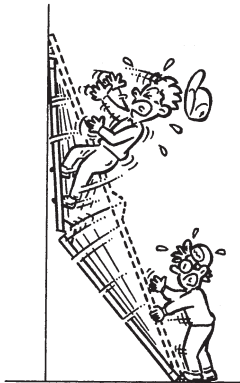
⚠警告 **脚立を高くするために、脚立にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。**

禁止

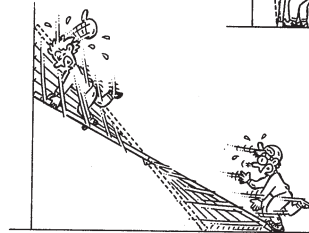
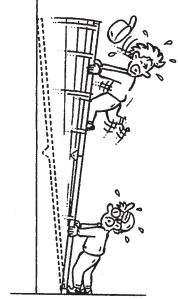
つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。

7. はしご状態で立て掛けるとき

⚠危険 **はしごの裏面は、絶対に使わないでください。**

禁止

はしごが破損して、転倒や転落の危険があります。

⚠危険 **はしごの立て掛け角度は、約75度にしてください。**

強制

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

⚠警告 **建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から3段目以上の踏ざんには乗らないでください。**

禁止

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **建物の屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物の接点が、最上段と２段目の踏ざんの間が理想的です。**

強制

はしごを建物の接点から長く突き出しすぎると、はしごから屋根に乗り移る場合、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。
やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしごの上の使用者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

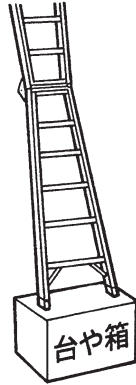
⚠警告 **はしごを水平にして、使わないでください。**

禁止

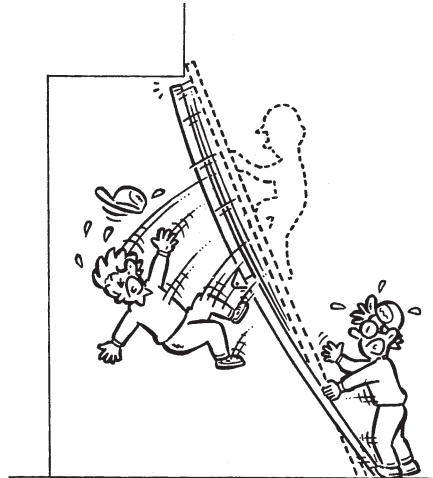
製品が破損して、転倒や転落の恐れがあります。

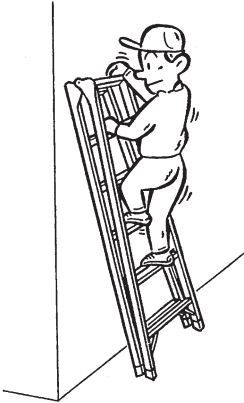
⚠警告 **はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。**

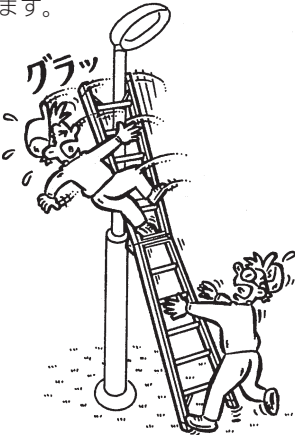
禁止

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **建物のはりや突き出た壁に、はしごの先端を立て掛けて使わないでください。**

禁止

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 禁止 **脚立を折りたたんだまま、建物に立て掛けたり、水平にして使わないでください。**

不安定な使用のため、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 禁止 **電柱や木など丸いものには、立て掛けないでください。**

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

8. 脚立状態で昇り降りや作業するとき

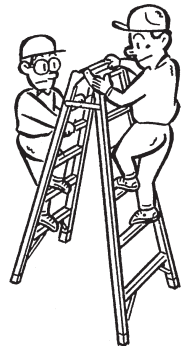
⚠危険 禁止 **天板の上には、絶対に乗ったり、座ったり、またがったりしないでください。**

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

⚠危険 禁止 **「ここにのること禁止」のラベルが貼ってある踏ざん（19ページ参照）には、乗らないでください。**

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

⚠警告 禁止 **同時に2人以上乗らないでください。**

脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 脚立を背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。

禁止

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。

禁止

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

禁止

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告 使用中、脚立の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

禁止

無理に押したり、引いたりすると、反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 二つの脚立の間に板をかけて、足場などに使わないでください。

禁止

踏ざんなどが破損したり、脚立が不安定になって転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 脚立は慎重に昇り降りし、脚立の途中から、飛び降りたりしないでください。

禁止

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

9. はしご状態で昇り降りするときは

⚠警告 **はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。**

強制

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **はしごと建物の接点より上の踏ざんや支柱に、体重をかけないでください。**

禁止

はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **屋根の上からはしごを移動しないでください。**

禁止

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **同時に2人以上乗らないでください。**

禁止

はしごが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **はしごを背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。**

禁止

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **はしごの支柱から身体を乗り出さないでください。**

禁止

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。**

禁止

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告 **はしごの上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。**

禁止

壁などを無理に押したりすると、その反動ではしごが立ち上がったり、ずれたりして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 **はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。**

禁止

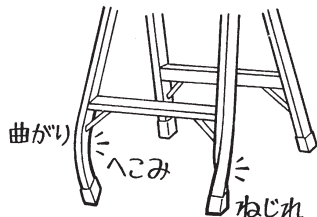
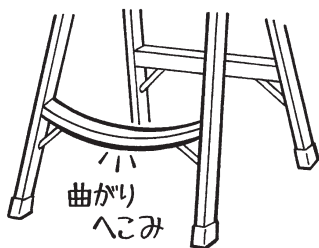
傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

ご使用前の点検

はしご兼用脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、下記の点検をしてください。

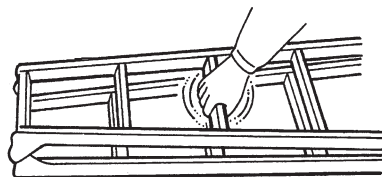
❶踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
（25 ページを参照）

❷支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❸踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

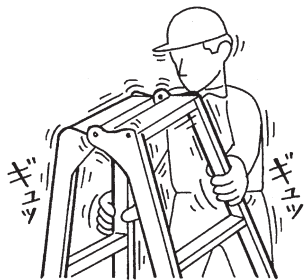
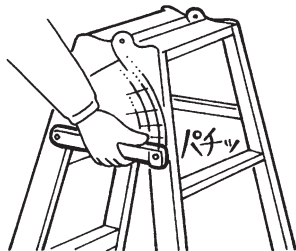
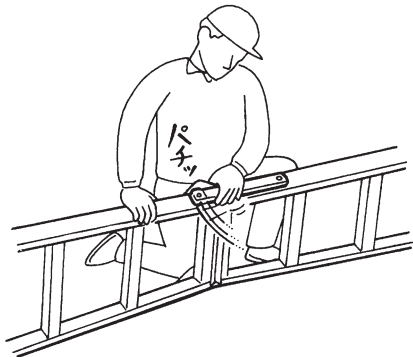
❺リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❻滑り止めキャップ（支柱端具）が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、**絶対に使わない**でください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止めキャップ（支柱端具）と交換してください。

2. 下記の箇所を触って点検をしてください。

❶各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

3. 支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

❶スムーズに開閉できますか。
スムーズに開閉できないときは、左右のヒンジ（回転金具）に泥やセメント・ごみの噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。

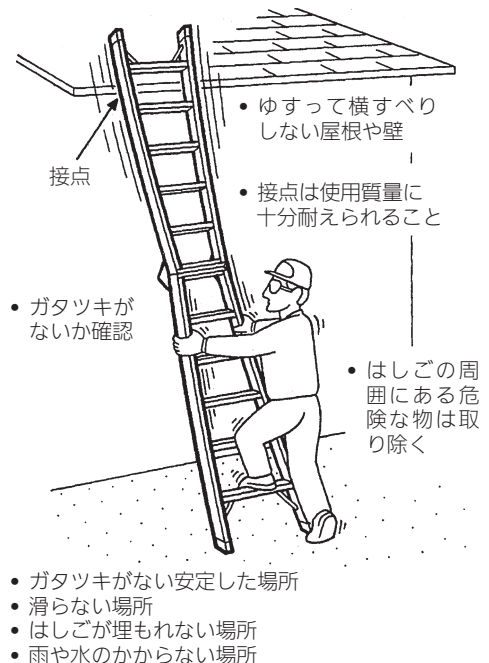
❷左右のヒンジ（回転金具）のゆるみやガタツキがありませんか。
ガタツキがある場合は、ヒンジ（回転金具）のゆるみや外れが考えられますので、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❸左右の開き止め金具は、ロック受けピンに確実にロックできますか。
確実にロックできない場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹支柱をいっぱいまで開き、左右の開き止め金具は、ロック受けピンに確実にロックできますか。
確実にロックできない場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

設置場所について

1. 脚立状態で使うとき

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また脚立が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は脚立の位置を移動してガタツキを取り除いてください。

• ガタツキがないか確認
• 脚立の周囲にある危険な物は取り除く
• 平坦で安定した場所
• 滑らない場所
• 脚立が埋もれない場所
• 雨や水のかからない場所

2. はしご状態で使うとき

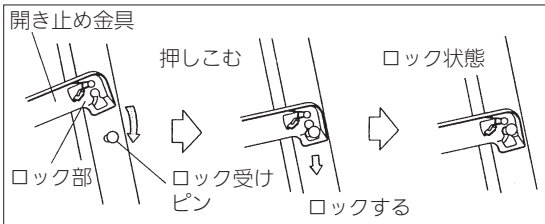
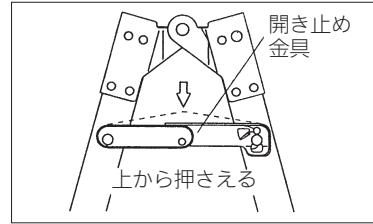
- ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所、またはしごが埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- はしごの周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- はしごとの接点が使用質量に十分耐えられ、横すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキなどを取り除いてください。

脚立状態での使いかた

1. 脚立にするときとたたみかた

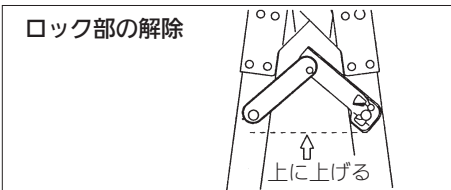
〈脚立にするとき〉

❶はしご兼用脚立の踏ざんを両手で持ち、片方の支柱を垂直に立ててください。

❷もう一方の支柱を、右図のように開いてください。

※はしご状態から脚立にする場合は、左右の開き止め金具を、下図のように掛けてください。

❸標準タイプは左右の開き止め金具を右図のように、⬇位置で上から押さえて、開き止め金具を確実にセットしてください。

〈たたみかた〉

【標準タイプ】

❶左右の開き止め金具を下図のように、⬆位置で上にあげて、金具を「への字」にしてください。

❷両手で踏ざんを上図のように持ち、慎重に折りたたんでください。

【一体式タイプ】

❶左右のロック部を解除し、開き止め金具を外してください。

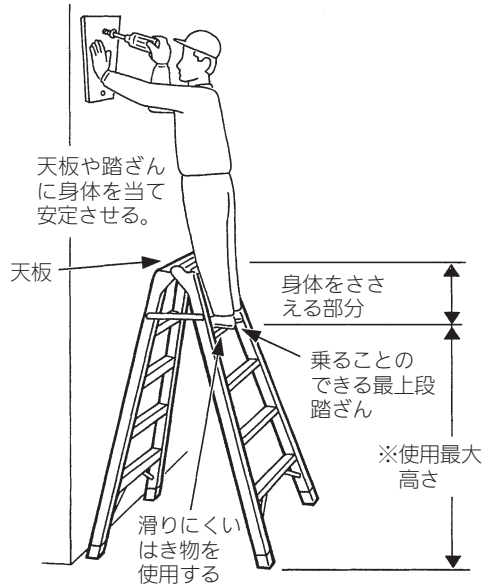
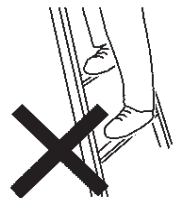
❷両手で踏ざんを上図のように持ち、慎重に折りたたんでください。

⚠警告

開閉は慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと、可動部や回転部などで手をはさんだり、変形や破損の原因になります。

2. 脚立の昇りかた・降りかた・作業のしかた

- 昇る前に、**必ず左右の開き止め金具が確実にロックされていることを確認**してください。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を脚立の昇降面に向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにしてください。
- **脚立の上で作業するときは、「ここにのること禁止」のラベルの貼ってない踏ざんに立ち、天板や踏ざんに身体を当て、安定させた状態で作業してください。**
- 脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。
- 降りるときは、飛び降りずに１段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 踏ざんに乗るときは、図のように足を掛けてください。
- 脚立を移動するときは、脚立から地上に降りて移動してください。

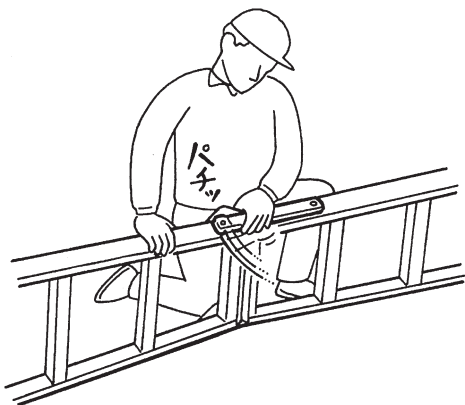
※使用最大高さ :乗ることができる最大の高さ

はしご状態での使いかた

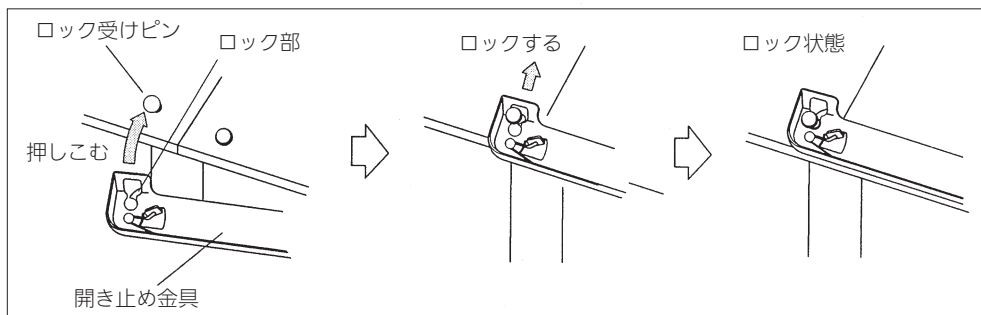
1. はしごにするときと たたみかた

〈はしごにするとき〉

❶はしご兼用脚立を折りたたんだ状態のまま、床面に寝かせて置いてください。

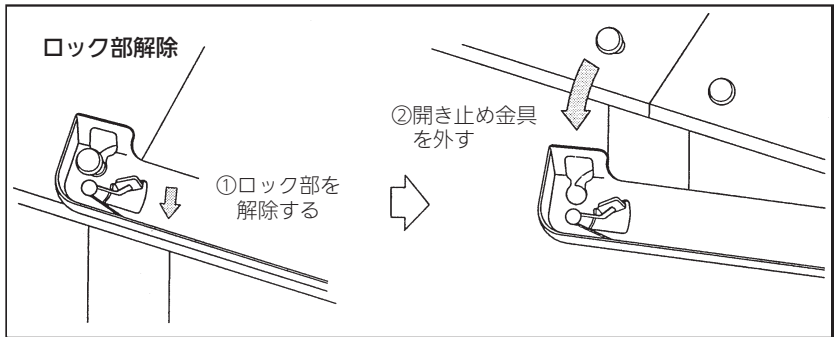
❷上側の踏ざんを持って、いっぱいまで開いてください。

❸はしご兼用脚立を横向きに起こし、**左右の開き止め金具をロック受けピンにロック部で確実にロックしてください。**

⚠注意

はしご兼用脚立を横向きに起こしたとき、上から力を加えないでください。製品が変形する恐れがあります。

〈たたみかた〉

❶はしごを横向きに起こし、左右のロック部を解除して、開き止め金具を外してください。

⚠注意

横向きにしたとき、上から力を加えないでください。製品が変形することがあります。

❷図のように、はしごを折りたたんでください。

⚠注意

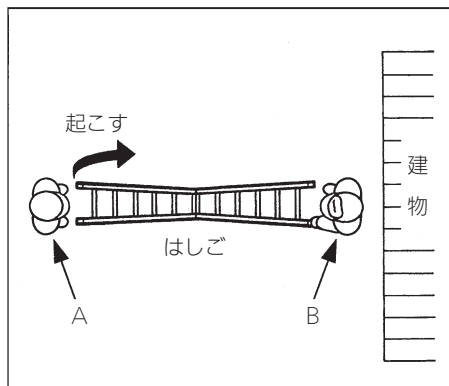
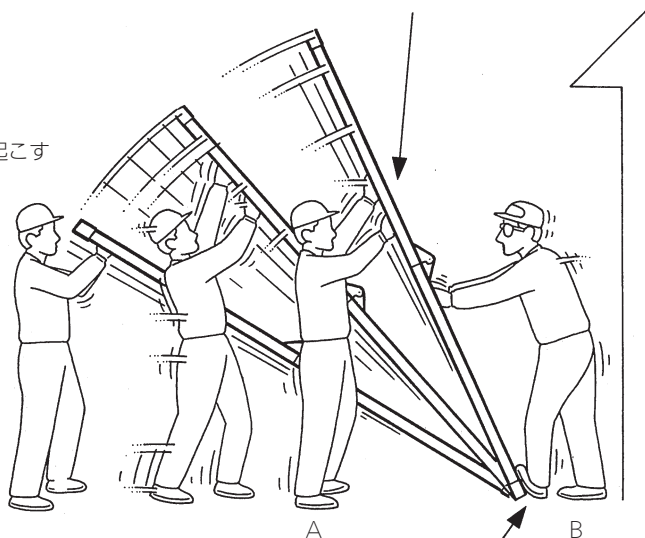
はしごを折りたたむときは、慎重に行ってください。乱暴にしますと、変形や破損の原因になります。

2. はしごの起こしかた・倒しかた

作業は２人で行ってください。

〈起こしかた〉

❶昇る建物に対して、はしごと２人の作業者は右図の位置になります。

❷建物側の人（B）は、はしごが動かないように滑り止めキャップ（支柱端具）部分を足で押さえ、もう一方の人（A）が踏ざんを持ちかえながら、ほぼ垂直まで起こしてください。

〈倒しかた〉

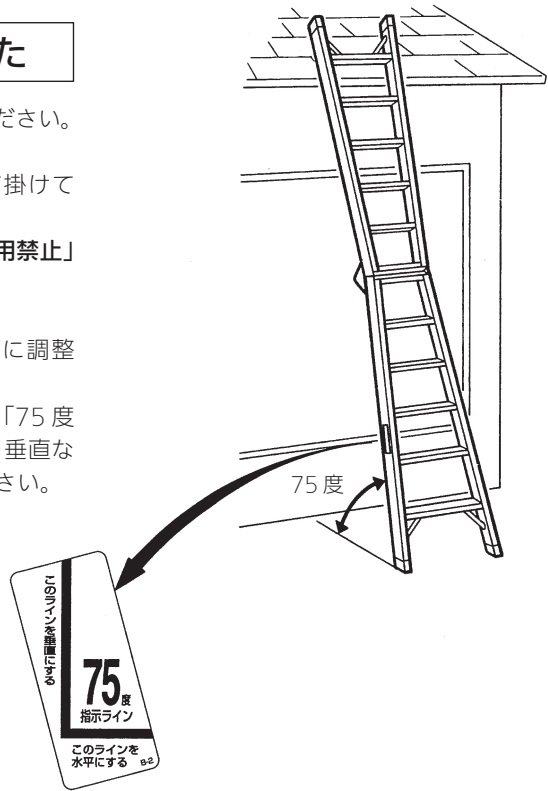
❶２人の作業者が向かい合って立ち、建物側の人（B）が滑り止めキャップ（支柱端具）部分を足で押さえてください。

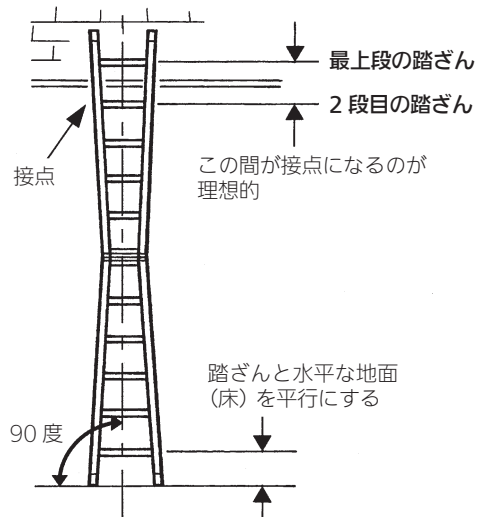
❷もう一方の人（A）が、はしごの踏ざんを持ちかえながら倒してください。

3. はしごの立て掛けかた

はしごの立て掛けは、2 人で行ってください。

❶はしごの表面が使えるように立て掛けてください。
※裏面には「この面は裏面です　使用禁止」の危険ラベルが貼ってあります。

❷はしごの立て掛け角度を約75 度に調整します。
※75 度の目安は、支柱に貼ってある「75 度指示ライン」を、水平な地面（床）・垂直な建物と平行になるようにしてください。

❸はしごを正面から見て、まっすぐ(水平な地面に90 度)に立て掛けてください。

❹屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物との接点が、最上段と2 段目の踏ざんの間が理想的です。
※上記以上に、はしごが接点から突き出てしまうときは、補助者が特に注意してはしごを押さえてください。また、はしご上の使用者は、接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

4. はしごの昇りかた・降りかた

- 昇る前に、**必ず左右の開き止め金具が確実にロックされていることを確認**してください。

- **はしごは、表面と裏面があります。昇る前に表面であることを確認してください。裏面には、「この面は裏面です　使用禁止」の危険ラベルが貼ってあります。**

- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。

- 身体の前面をはしごに向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。

- 昇り降りに支障をきたすような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにし、身体のバランスに注意しながら昇り降りしてください。

- **はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、はしごが不安定になります。補助者がはしごをしっかり支えて、安定させてください。**

- はしごを使って降りるときは、1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

- 昇り降りするときは、補助者が滑り止めキャップ（支柱端具）部分を片足で押さえて、両手でしっかり支えてください。

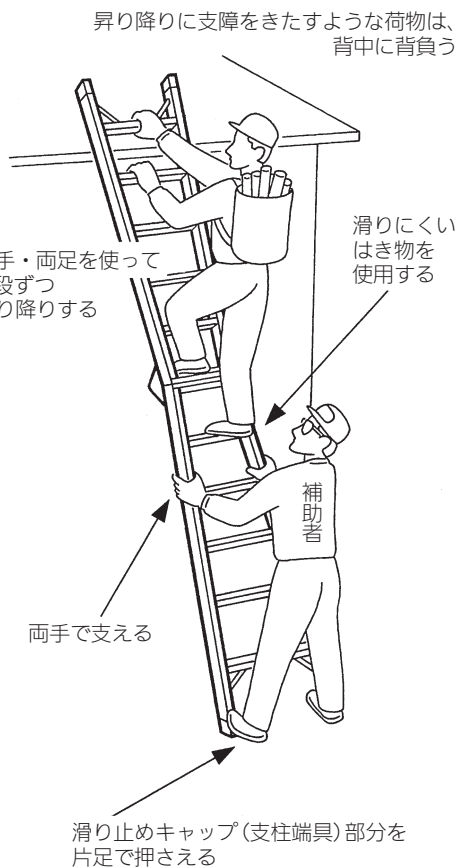
昇り降りに支障をきたすような荷物は、
背中に背負う

両手・両足を使って
1段ずつ
昇り降りする

滑りにくい
はき物を
使用する

補助者

両手で支える

滑り止めキャップ（支柱端具）部分を
片足で押さえる

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

はしご兼用脚立にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

❶汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。

❷汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

❸油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

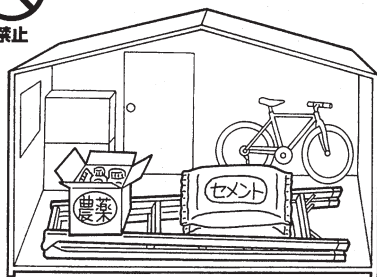
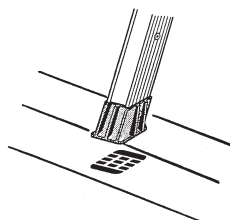
クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

❶雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。

❷本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

- **保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。**
- **農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。**

- **ビニール系床シート、床タイル上で使用したり、長期間保管したりすると、端具の設置部分に色が移る場合がありますのでご注意下さい。**

「故障かな？」と思ったら（不調診断）

〈現象〉● 使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱とヒンジ（回転金具）の接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉● 開き止め金具が確実にロックできない。
● 脚立がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
開き止め金具に、変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ロック受けピンに破損や変形、脱落がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱やヒンジ（回転金具）に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ヒンジ（回転金具）がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、回転部に注油してください。 機能がそこなわれるようないちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉● 設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
脚元や先端が曲がっていませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
滑り止めキャップ（支柱端具）が、外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。（弊社までご相談ください。）

「故障かな？」と思ったら（不調診断）

〈現象〉● 大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置のしかた
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱や踏ざんに、曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉● 折りたたんだとき、合わされる脚に大きなズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
ヒンジ（回転金具）に変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ヒンジ（回転金具）を止めているリベットが、ゆるんだり外れたりしていませんか。	ゆるんだり外れたりしている場合は、使わないで廃棄してください。

⚠警告

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

長谷川工業株式会社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 2-1-1 江戸堀センタービル 14F　TEL 06-6446-1845㈹　FAX 06-6446-1846

お客様相談室　TEL 06－6446－1858

09.11.E.FG